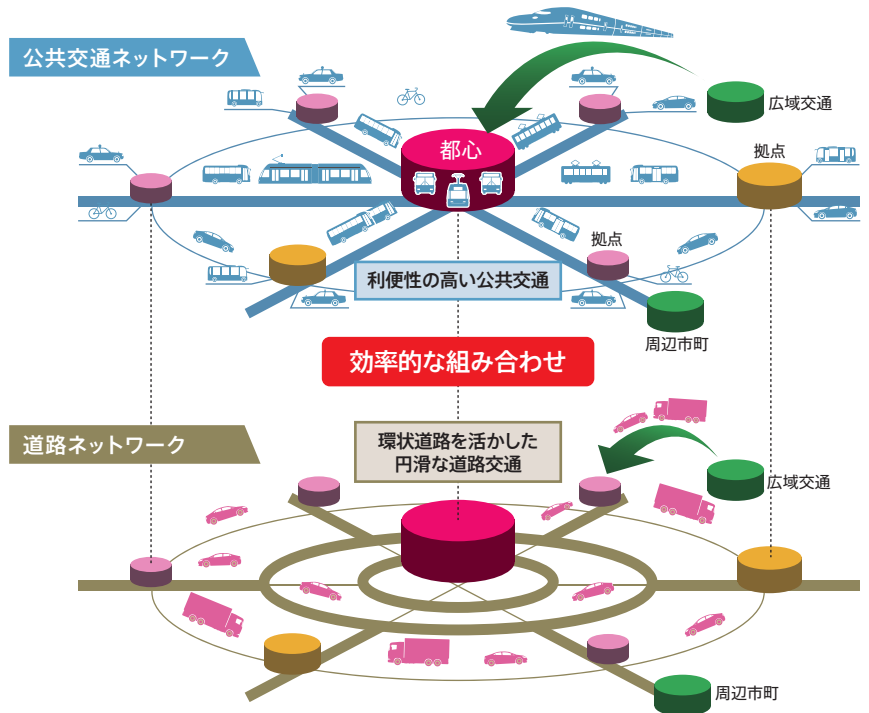


交通体系の将来像

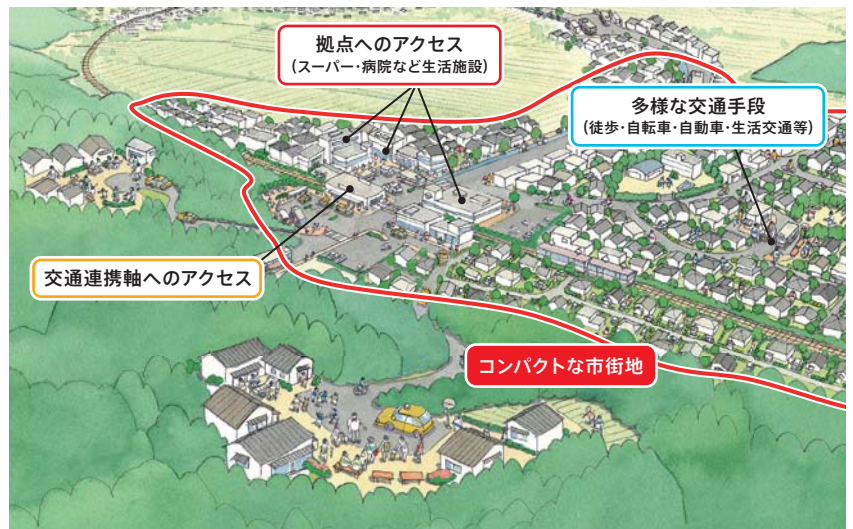
1 都心—拠点間

都心・拠点間では、鉄軌道とバスを中心とする利便性の高い公共交通と、環状道路を活かした円滑な自動車交通を効率的に組み合わせることで、現在の自動車交通に依存した交通体系から、都心へのアクセス性に優れた、人と環境にやさしい、公共交通中心の交通体系への転換を目指すとともに、公共交通を軸としたコンパクトな市街地への誘導を図ります。



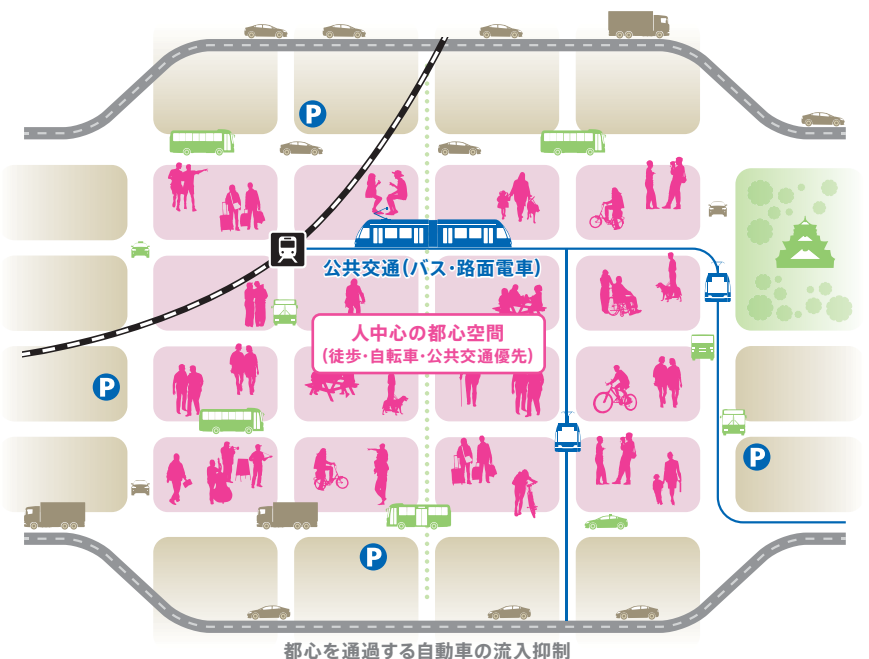
2 拠点(地域生活圏)

地域生活圏では、買い物や通院等の日常生活に必要な公共交通の維持・確保を図りながら、地域特性に応じて、徒歩・自転車・自動車・生活交通等を組み合わせて、拠点にアクセスしやすい交通ネットワークの形成を目指します。



3 都心

都心内では、トラフィックゾーンシステムの考え方を取り入れ、都心内の自動車交通の減少により、都心内の交通空間を、歩行者・自転車・公共交通中心の空間に再生し、人でにぎわう、歩いて楽しい都心空間の創生を目指します。



1 安全で快適な 交通ネットワークを つくる

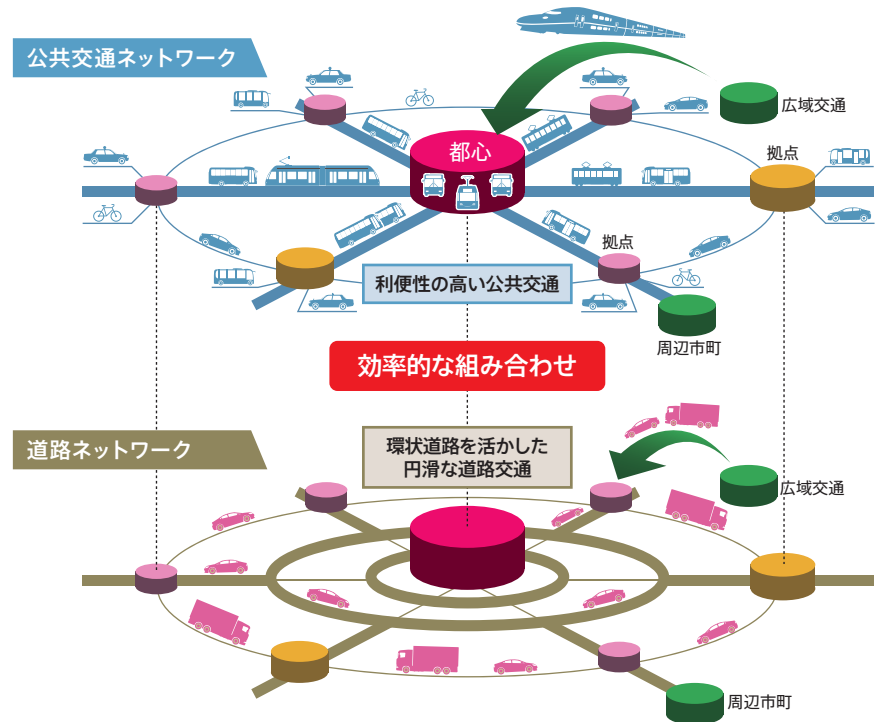
効率的で使いやすい公共交通へ改善するとともに、自動車交通とバランスのとれた公共交通を中心とする安全で快適な交通ネットワークを構築し、あらゆる人の移動の質の向上を目指します。






将来像

都心ー拠点間

都心・拠点間では、鉄軌道とバスを中心とする利便性の高い公共交通と、環状道路を活かした円滑な自動車交通を効率的に組み合わせることで、現在の自動車交通に依存した交通体系から、都心へのアクセス性に優れた、人と環境にやさしい、公共交通中心の交通体系への転換を目指すとともに、公共交通を軸としたコンパクトな市街地への誘導を図ります。



将来像の実現化方策

 鉄道の利便性向上	サービス水準の向上
	交通結節点機能の強化
	使いやすい運賃体系の構築
	わかりやすい案内情報の構築
 道路整備による生産性・安全性向上	渋滞緩和による移動の円滑化
	広域交流の強化(物流軸の強化)
	災害に強い道路ネットワークの形成
 バスの利便性向上	サービス水準の向上
	交通結節点機能の強化
	使いやすい運賃体系の構築
	わかりやすい案内情報の構築
	定時性・速達性の確保
	新技術の活用に関する研究

実現化方策の実施プログラム

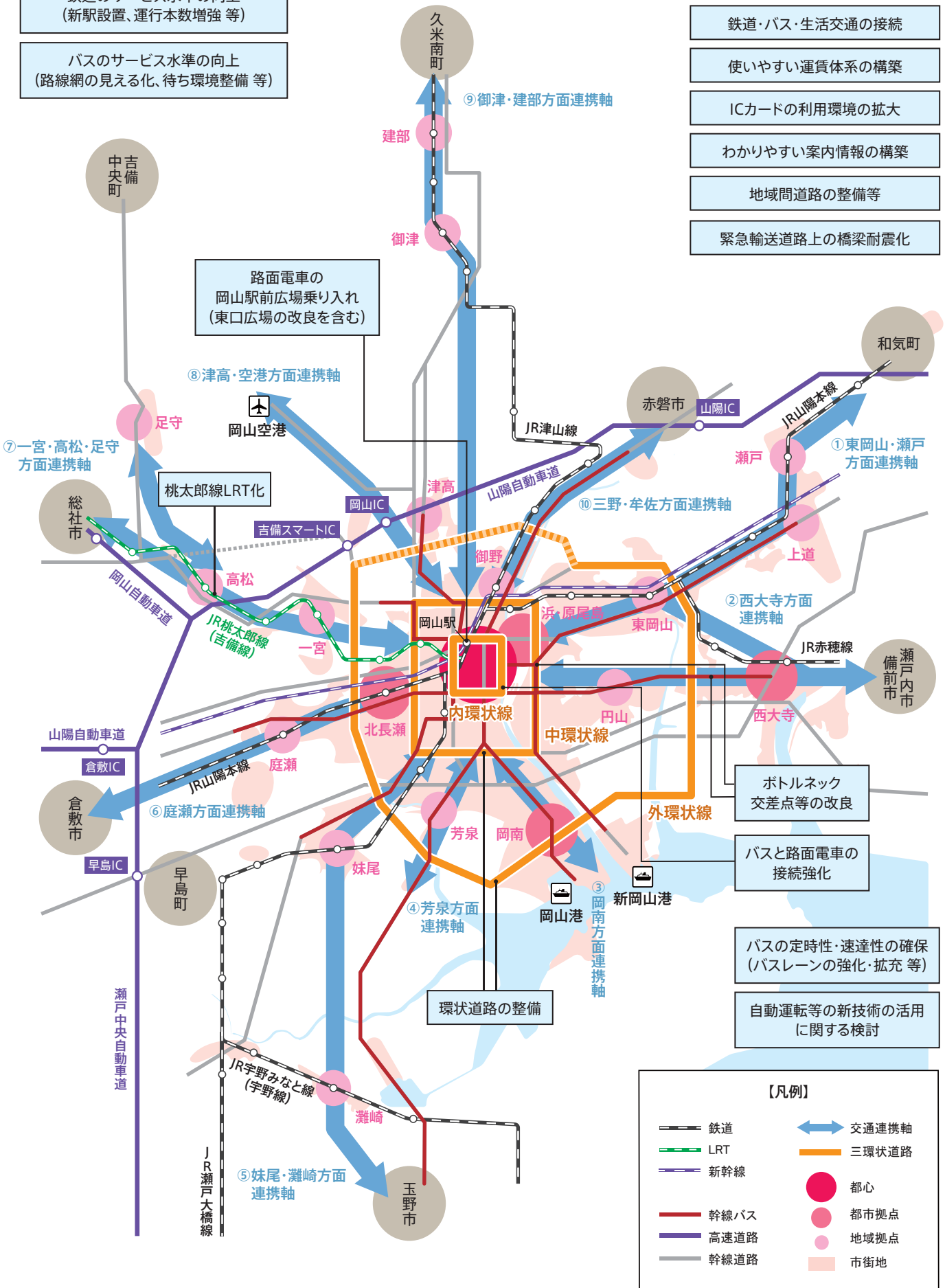
	施策	計画期間における 実施内容	実施主体	実現時期の目標		
				短期(5年)	中期(10年)	長期
鉄道の 利便性向上	サービス 水準の向上	桃太郎線LRT化	主要施策 ①	鉄道事業者・岡山市・総社市	→	
		新駅設置、運行本数増強等	—	鉄道事業者・岡山市	→	→
		駅のバリアフリー化	エレベーター・スロープの設置等	鉄道事業者・岡山市	→	→
	交通結節点 機能の強化	路面電車の岡山駅前広場乗り入れ(東口広場の改良を含む)	主要施策 ②	軌道事業者・岡山市	→	
		路線バス・生活交通との接続	10箇所程度	鉄道事業者・バス事業者・地元検討組織・岡山市	→	→
		駅周辺整備	1~2箇所	岡山市	→	→
		P&R・C&R駐車場の拡充	1~2箇所	鉄道事業者・岡山市	→	→
	使いやすい 運賃体系の構築	高齢者割引の導入等	—	鉄道事業者	→	→
		ICカード利用環境の拡大	1~2路線	鉄道事業者	→	→
	わかりやすい 案内情報の構築	案内表示の拡充・多言語化等	1~2箇所	鉄道事業者・岡山市	→	→
生産性・安全性向上 道路整備による	渋滞緩和による 移動の円滑化	ボトルネック交差点等の改良	主要施策 ④	岡山市・国土交通省	→	→
		環状・放射状道路の整備	主要施策 ③	岡山市・国土交通省	→	→
	広域交流の強化 (物流軸の強化)	地域間道路の整備等	主要施策 ③	岡山市・国土交通省	→	→
	災害に強い道路 ネットワークの形成	緊急輸送道路上の橋梁耐震化	主要な36箇所	岡山市・国土交通省	→	→
バスの 利便性向上	サービス水準の 向上	バス路線網の見える化	主要施策 ⑤	バス事業者・岡山市	→	
		路線の再編・新設・増便等	地域公共交通網形成計画の策定	バス事業者・岡山市	→	→
		バス停のバリアフリー化	10箇所程度 主要施策 ⑥	バス事業者・岡山市・国土交通省	→	→
		低床車両の台数増強	導入率:22%⇒50%	バス事業者	→	→
		バスの待ち環境整備	1~2箇所	バス事業者	→	→
	交通結節点 機能の強化	鉄道、生活交通との接続	10箇所程度	鉄道事業者・バス事業者・地元検討組織・岡山市	→	→
		路面電車との接続強化	1~2箇所	軌道事業者・バス事業者・岡山市	→	→
		P&BR・C&BR駐車場の拡充	10箇所程度	バス事業者・岡山市	→	→
	使いやすい 運賃体系の構築	乗継ぎ割引、高齢者割引の導入等	—	バス事業者	→	→
		ICカード利用環境の拡大	—	バス事業者	→	→
	わかりやすい 案内情報の構築	案内表示の拡充・多言語化等	1~2箇所	バス事業者・岡山市	→	→
		ロケーションシステムの改善・拡充	—	バス事業者	→	→
	定時性・速達性の 確保	ボトルネック交差点等の改良【再】	主要施策 ④	岡山市・国土交通省	→	→
		環状・放射状道路の整備【再】	主要施策 ③	岡山市・国土交通省	→	→
		バスレーンの強化・拡充	1~2路線(幹線バス)	バス事業者・岡山県警・岡山市・国土交通省	→	→
		PTPSの拡充	1~2路線(幹線バス)	バス事業者・岡山県警	→	→
新技術の活用に関する研究	自動運転等の新技術の活用に関する検討	実証実験の実施	交通事業者・民間企業・岡山市・国土交通省	→	→	

→ 事業中、または継続的な取組み
→ 熟度や合意形成等を図りながら事業化を目指すもの
→ 実施の可能性について検討を進める事業

実現化方策の展開イメージ

- 鉄道のサービス水準の向上
(新駅設置、運行本数増強等)
- バスのサービス水準の向上
(路線網の見える化、待ち環境整備等)

- バス停のバリアフリー化
- バスの低床車両の台数増強
- 駅・バス停の交通結節点機能の強化
- 鉄道・バス・生活交通の接続
- 使いやすい運賃体系の構築
- ICカードの利用環境の拡大
- わかりやすい案内情報の構築
- 地域間道路の整備等
- 緊急輸送道路上の橋梁耐震化



2 日常の移動を便利にし 健幸な暮らしを 支える

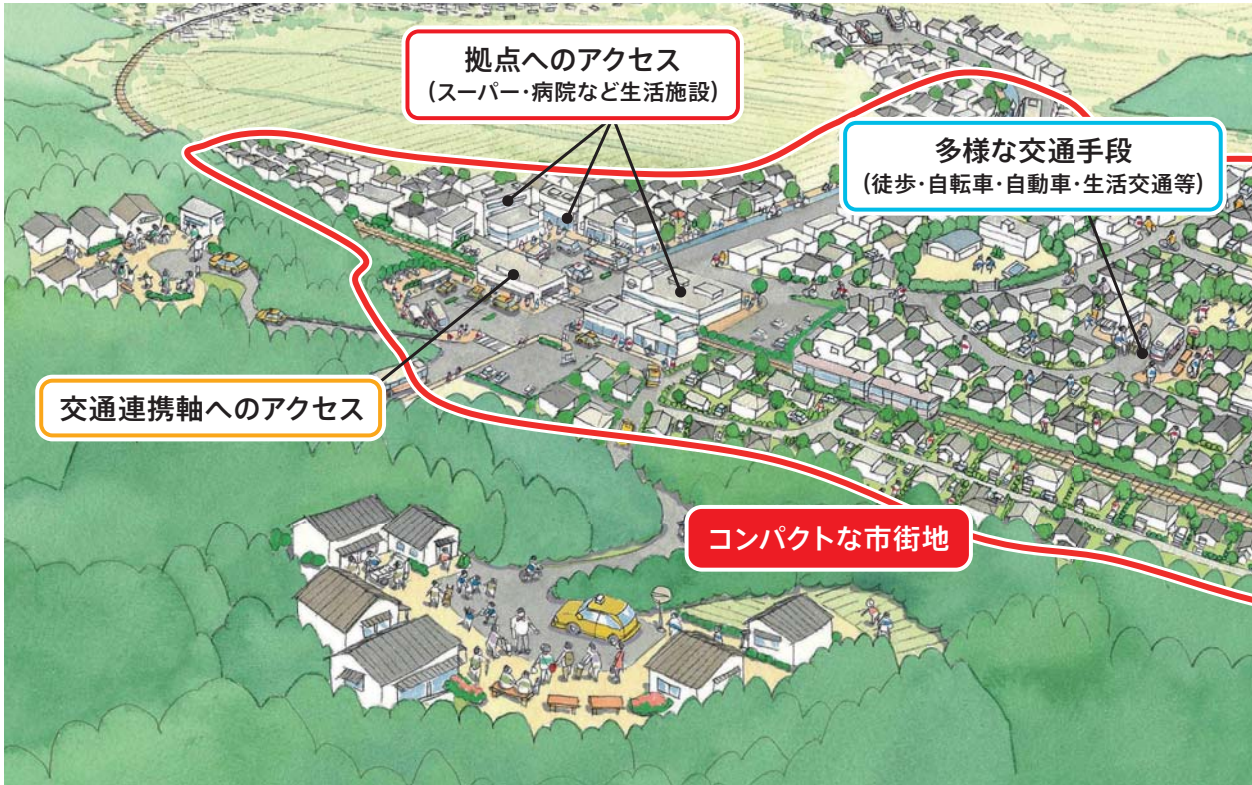
徒歩や自転車を中心とする環境にやさしいライフスタイルを醸成するとともに、自動車・生活交通などで身近な拠点へのアクセス性を向上させることで、都市の持続可能性を高め、生きがいを感じられる健幸な暮らしの実現を目指します。








将来像

拠点

地域生活圏では、買い物や通院等の日常生活に必要な公共交通の維持・確保を図りながら、地域特性に応じて、徒歩・自転車・自動車・生活交通等を組み合わせて、拠点にアクセスしやすい交通ネットワークの形成を目指します。



将来像の実現化方策

  生活交通の確保	既存の生活交通の維持・改善
	新たな生活交通の確保
  暮らしを支える みちづくり	拠点形成に資する道路の整備
	モビリティマネジメントの実施
 環境にやさしい ライフスタイルの 醸成	環境負荷の軽減
	自転車利用環境の向上
	新技術の活用に関する研究



実現化方策の実施プログラム

	施策	計画期間における実施内容	実施主体	実現時期の目標		
				短期(5年)	中期(10年)	長期
生活交通の確保	既存の生活交通の維持・改善 コミュニティバス等の維持・改善 ・御津、建部地域 ・足守地域	随時	地元検討組織・ 交通事業者・岡山市	→	→	→
	タクシーの利用環境改善 (バリアフリー化等)	UDタクシー 導入促進など	タクシー事業者・ 岡山市	→	→	→
	新たな生活交通の確保 新たな生活交通の導入 ・迫川地区 ・千種地区 ・馬屋上・野谷地区 ・牧山地区 ・角山地区 等	10地区程度 主要施策 7	地元検討組織・ 交通事業者・岡山市	→	→	→
暮らしを支える みちづくり	拠点形成に資する 道路の整備 駅等へのアクセス道路の整備	1~2路線	岡山市	→	→	→
	自転車走行空間の整備	主要施策 8	岡山市・国土交通省・ 岡山県警	→	→	→
環境にやさしいライフスタイルの醸成	モビリティ マネジメントの実施 居住者に対するモビリティマネジメント ①バス教室の開催 ②交通探検隊の開催	①年数回実施 ②年1回実施	岡山市	→	→	→
	転入者に対するモビリティマネジメント ・公共交通マップの配布	随時	岡山市	→	→	→
	通勤者に対するモビリティマネジメント ・スマート通勤 ・ノーマイカーデー	毎年実施	岡山市・岡山県・ 国土交通省	→	→	→
	環境負荷の軽減 低公害車の普及促進	—	民間企業・岡山市	→	→	→
	自転車 利用環境の向上 自転車ルール・マナーの向上 ・ルール、マナーの周知 ・放置自転車の解消に向けた指導・啓発	毎年実施	岡山市・国土交通省・ 岡山県警	→	→	→
	サイクリングロードの充実	1~2路線	岡山市・岡山県・ 国土交通省	→	→	→
新技術の 活用に関する研究 自動運転等の新技術の 活用に関する検討 【再】 (超小型モビリティを含む)	実証実験の実施	交通事業者・ 民間企業・ 岡山市・国土交通省	→	→	→	

事業中、または継続的な取組み
 熟度や合意形成等を図りながら事業化を目指すもの
 実施の可能性について検討を進める事業

3 歩いて楽しい 都心空間に 変える

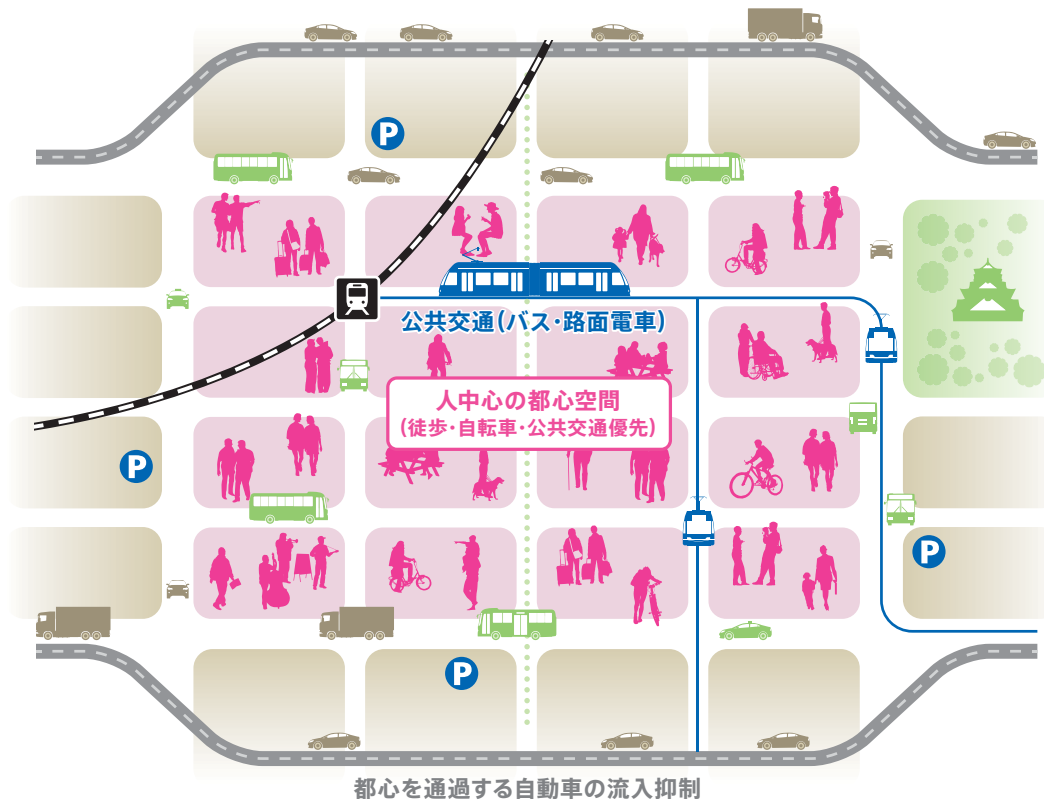
歩いて楽しい空間を創出するとともに、回遊性向上に資する公共交通ネットワークの形成により、誰もが楽しめる都心空間の実現を目指します。






将来像

都心

都心内では、トラフィックゾーンシステムの考え方を取り入れ、都心内の自動車交通の減少により、交通空間を歩行者・自転車・公共交通中心の空間に再生し、人でにぎわう、歩いて楽しい都心空間の創生を目指します。



将来像の実現化方策

 人中心の都心空間の創出	都心を通過する自動車の流入抑制
	新技術の活用に関する研究
 安全安心な歩行空間の確保	誰もが通行できる歩行空間の確保
 回遊性の向上	歩行・滞留空間の整備
	都心内公共交通の利便性・快適性の向上
	自転車利用環境の向上
	わかりやすい案内情報の構築



実現化方策の実施プログラム

	施策	計画期間における実施内容	実施主体	実現時期の目標			
				短期(5年)	中期(10年)	長期	
人中心の都心空間の創出	都心を通過する自動車の流入抑制	環状道路・放射状道路の整備【再】	主要施策 3	岡山市・国土交通省	→		
		駐車場の再編	主要施策 3	民間事業者・岡山市	→		
		トラフィックゾーンの構築	主要施策 10	岡山市・国土交通省・岡山県警	→		
新技術の活用に関する研究	自動運転等の新技術の活用に関する検討【再】 (超小型モビリティを含む)	実証実験の実施	交通事業者・民間企業・岡山市・国土交通省	→			
				→			
歩行空間の確保 安全安心な	誰もが通行できる歩行空間の確保	バリアフリー化された歩行者ネットワークの形成	バリアフリー基本構想の策定	岡山市	→		
		バリアフリー情報の発信・活用	歩行者ネットワーク情報の整備・提供	岡山市	→		
回遊性の向上	歩行・滞留空間の整備	県庁通りの歩道拡幅(車道1車線化)	主要施策 11	岡山市	→		
		道路空間の有効活用(オープンカフェなど)	主要施策 11	岡山市	→		
		歩車共存道路の整備・柳町表町線、本町表町線、平和町1号線等	1~2箇所	岡山市	→		
	都心内公共交通の利便性・快適性の向上	路面電車の岡山駅前広場乗り入れ【再】(東口広場の改良を含む)	主要施策 2	軌道事業者・岡山市	→		
		路面電車の延伸・環状化	—	軌道事業者・岡山市	→		
		電停・バス停の待ち環境整備	1~2箇所	軌道事業者・バス事業者	→		
		低床車両の台数増強 ①路面電車 ②バス	導入率: ①10%⇒20% ②19%⇒40%	軌道事業者・バス事業者	→		
		観光需要への対応	—	軌道事業者・バス事業者・岡山市	→		
		ICカード利用環境の拡大【再】(チャージ機の充実含む)	—	軌道事業者・バス事業者	→		
	自転車利用環境の向上	バス路線の再編・新設・増便等【再】	地域公共交通網形成計画の策定	バス事業者・岡山市	→		
		ももちゃりの利用促進(ポートの適正配置等)	ポートの再編等	岡山市	→		
		自転車走行空間の整備【再】	主要施策 8	岡山市・国土交通省・岡山県警	→		
わかりやすい案内情報の構築	駐輪場の整備	1~2箇所(都心部)	民間事業者・岡山市	→			
	歩行者案内板の整備・更新等	随時	岡山市・国土交通省	→			
	案内表示の拡充・多言語化等【再】	1~2箇所	鉄道事業者・軌道事業者・バス事業者・岡山市	→			

→ 事業中、または継続的な取り組み
→ 熟度や合意形成等を図りながら事業化を目指すもの
→ 実施の可能性について検討を進める事業

実現化方策の展開イメージ

【凡例】

- トラフィックゾーン
- 歩行空間のネットワーク
- 都心内を面的にサービスする公共交通ネットワークの形成

大学・病院・総合グラウンド等



- 自転車走行空間の整備
- ももちゃりの利用促進
- 駐輪場の整備
- 低公害車の普及促進
- わかりやすい案内情報の構築
- バリアフリー化された歩行者ネットワークの形成
- バリアフリー情報の発信・活用

路面電車の岡山駅前広場乗り入れ
(東口広場の改良を含む)

(県)原尾島番町線

53

道路空間の有効活用

後樂園

カルチャーゾーン

岡山城

観光需要への対応

県庁

都心部の活性化施策との連携

- ・西川、旭川、城下町等での魅力にぎわいづくり
- ・新しい文化芸術施設の整備
- ・市街地再開発 等

路面電車の延伸・環状化

電停・バス停の待ち環境整備

低床車両の台数増強
(路面電車・バス)

ICカードの利用環境の拡大

バス路線の再編・新設・増便 等

県庁通りの歩道拡幅
(車道の1車線化)

トラフィックゾーン構築

歩車共存道路の整備

(県)岡山児島線

市役所

大学病院

環状道路・放射状道路の整備

自動運転等の新技術の活用に関する検討

4 参加・協働により 交通政策を 進める

市民が参加し、課題認識を共有し、解決方法を一緒に考えることで、協働による市民目線の交通政策を推進します。

